

全國師範學校附屬幼稚園主事協議會



豫て行わるべくして、未だ行われなかつた此の會合は、學制改革、殊に新制大學附屬學校としての新しい問題も多い今日、その第一回が左の如く開催せられたことは、頗る時宜に適すると共に、幼稚園教育の將來のために、極めて意義深いことであつた。

○招 請 狀

全國師範學校附屬幼稚園主事協議會開催御案内

御清勝大慶存じ上げます。

學制の刷新に伴い、幼稚園、殊に新制大學附屬幼稚園についても種々の重要問題のある今日、先般近畿地方の師範學校附屬幼稚園主事諸氏が奈良女高師に會合せられ、懇談協議を重ねられた際、同様の趣旨において全國の師範學校附屬幼稚園主事協議會とでもいうべきものを開催の必要ありという熱心な希望が生まれ、それに基き世話を小生等に托せられましたので、左記の如く開催したいと思ひます。折柄特別御繁忙のところ、殊に寒氣の節、誠に恐縮の至りですが、御都合萬障おくりひわせの上、是非にも御出席下さるよう切にお願

い致します。

期日 二月二十六日(土)午前十時より

會場 東京女子高等師範學校

協 議 題 案

- 一、新制大學と附屬幼稚園の問題
- 一、新制大學と幼稚園教員養成問題
- 一、その他幼稚園發展のために必要な諸問題
- 一、全國保育連合會及保育學會の件

○なお當日は文部省係官も出泥の筈になつています

○同封はがきにて御出席を折返し御返事下さり
○當日の晝食お辨當は當方で用意致し置きます

二月一日

東京女子高等師範學校附屬幼稚園主事
會 橋 惣
奈良女子高等師範學校附屬幼稚園主事
小 川 正

協議會出席者

通 三

文部省師範教育課長
文部省師範教育事務官

文部省初等教育課長

青森師範附屬幼稚園主事

山形師範

岩手師範

宮城師範

秋田師範

栃木師範

群馬師範

千葉師範

東京第一師範

新潟第一師範

富山師範

愛知第一師範

三重師範

京都師範

大阪第一師範

兵庫師範

奈良女高師

(急に差支缺席)

(急に差支缺席)

玖村敏雄
上野芳太郎
青木覺男
阪元彦太郎

(代理)

(代理)

青野健
柏原亮吉
森純吾
吉成千代雄
野口正藏
鈴木眞
郡清
垣下清一郎
林と
宮内孝
中川武夫
齋藤和代
波根治郎
江尻保之助
鈴木三郎
魚住實
阿部安三
長井八藏
小川正通

奈良女高師

廣島師範

香川師範

鹿児島師範

世話係

東京女高師

倉橋惣三

及川ふみ

○ 協 議 會

川井清六
池田勝人
鈴木康一
山下靜雄

倉橋惣三
及川ふみ

學年末多忙を極める時期、殊に多數の諸君が遠路のところを斯くも召集せられたことは、此の會合が如何に待望のものであつたかを示すと共に、如何に熱心な協議が重ねられたかは素よりである。先づ東京女高師の倉橋主事から會場のあるじとして挨拶の後、すべて形式的でなく、卓を圍んで懇談的に協議を進めたいことをはかり、座長として、奈良女高師の小川主事を煩わしては如何と提案し、満場の賛動を以て、小川氏座長席につく。一體、此の催しは、先般近畿の主事諸君が、奈良女高師に會合、種々懇談された結果、是非、東京に全國的の會を開きたいという、熱心な發意に基き小川主事から、倉橋主事にその世話方を促されたことに始まつたのであつたのである、此の會の成る一つはこうした發動の賜であつた。

正午には栃木縣への出張という無理な時間を削いて、定刻前から出席していられた文部省師範課の上野事務官は、全員期待の幼稚園教員養成の問題につき、文部省で定められた

「小學校幼稚園教諭免許狀授與出願に要する最低履歴（大學における）單位數表」を示して、詳細の説明を與えられた。

（これについては、更めて上野氏の執筆を乞ひ、本誌上に紹介する豫定にしている）之れからの日本の幼稚園教育者の質的向上を思い切つて圖ると共に、また一面、現下の實際の要求を忘れず、周倒に立案されてある此の表は、全員の注意の中心として、種々質問も發せられ、上野氏は一々之れに懇切な解答を與えられた。なお、大學以外における養成の途についても、文部省で考慮研究せられつゝあることを語られ、社會的需要を充たすことの緊急に訴えて、各方面からの關心が盛に討議せられた。質問は盡きなかつたが、上野氏の出發の時間の都合上、それは一應打ち切れたが、後に決議した建議事項に關聯して、最も重要な内容であつた。

文部省師範教育課上野事務官

を中心にして

上野事務官——幼稚園に關し、今まで専門的研究があまりなされて居なかつたので、この様な會の開かれた事は文部省にとつても嬉しい事である。

大學で幼稚園教員を養成する事は最も望ましいが難しい。今の師範の附屬幼稚園を發展させたいが、義務でないので豫算は後廻しにされ、又、學級數等のはつきりした規格の無い事も一障碍となつて居る。故に新制大學の附屬として一定の

規格を以てつくりたいと思つて居る。此の會でも規格について検討して案を出してほしい。附屬を今年、新制大學に移すか、來年にするかについていろいろ検討した。しかし、大學さえ設置がまだきまらない。附屬は研究施設として附設されるが、大學の教育實習は第二學年からなので大學へ轉換は第二年度にしようとして居る。故に今年中にその規格をつくりたい。之まで附屬幼稚園の意義は小學校と同じとされ、四つの性格が考えられて居た。普通學級、特別學級も、兩方あつてもいいし、一つでも、夫々研究されたい。但し募集は學校が國民の税金で出來たものであり、公の施設である關係上、公募し平等に機會を與えてほしい。特別學級はその性質をよく検討してほしい。文部省への今までの多くの報告ではその性格が不明瞭である。教育的にその方針を明示して研究してゆきたい。

次に幼稚園教員の養成についてであるが、幼稚園は小學校と同じ標準に考へて居る。助教諭については規定して居ないが、新制高校卒が最低限とされ、都道府縣の委員會が任命する事になつて居る。

江尻（愛知）——幼稚園を第二年度に轉換すると言うが、今年は舊師範の附屬か。

上野事務官——そうである。

齋藤（新潟）——前の免許狀に甲、乙とあつたのはどうなるか、

上野事務官——前から一級、二級となつて居る。それにつ

して組合から全面的に反對された。教育免許狀一本でやつてほしいというのだがそれは難しい。

川井(奈良)——特別學級についてくわしく話してほしい。事務官の御考えは如何。

上野事務官——社會環境、双生児、兄弟等の關係を扱うのもよい。即ち家庭を指定しても面白い結果は出ると思う。多くの報告書には「本校の目的を全うするに」等とあつて、特別の點がはつきりしない報告のあるのは遺憾である。

川井(奈良)——それならば九年連続はいけないか。

上野事務官——はつきり言えない。九年連続か、一般に公平にするか、いろいろ論議されたが、現状では後者をとり小學校と中學校とも切つた。しかし實際には切りかねている。學級数を指定しておけばよかつた。三學級にしたと思つたが豫算がなかつた。

川井(奈良)——先の文部省の指令は、どういう意味を持つか。

上野事務官——今まで師範附屬はあまり評判がよくなく、攻撃されている。附屬がしている夏季の教育が豪勢だつたり、良家の子を入れる事等が攻撃のまゝになつて居る。

川井(奈良)——その攻撃は前より緩和したのではないか。

上野事務官——ジャーナリストがやかましくなつて來た。某新聞の一件がそれである。千葉の問題が導火線となつたのである。これらの新入學についても事が起りはほしくないかと思ふ。教育刷新委員會の方で指令のあの線で了解された以上、

動かす事も出来ない。

小川(奈良女高師)——幼稚園の管理が單位の中に入り、保育實習もする様になつて居るが、この單位は學藝大學であるのだから、文部省では置けという意味に解される。

上野事務官——置くのだが、小學校の後になるだろう。

小川(奈良女高師)——その様な講座を入れて貰うよう盡力するより仕方が無いのか。

上野事務官——學校として、幼稚園のものを設け、しかも小學校とも通用するものをしてほしい。

江尻(愛知)——假免許狀の性格はどうか。

上野事務官——五年で更新するが一回だけで、十年の間に一級又は二級にならねばならぬ。

江尻(愛知)——その機會は何か。大學入學等は出来ないか

上野事務官——夏季學校、認定講習等を受ければよい。大學に入ればよいがそれは事實上難しいのではないだろうか。

江尻(愛知)——一年のコースは學校として設ける事は可能か。

上野事務官——可能である。

江尻(愛知)——豫算はとれないか。

上野事務官——國家として一年のをするかという問題であるが、之は各地に委託するのであつて國家としてはしない。

郡(栃木)——免許狀を持つ幼稚園教員がほしいが無い。師範卒で無試験で幼稚園教員になれるとよいと思ふ。

上野事務官——小學校教員の資格ある人は幼稚園教員にな

れる。

小川(奈良女高師)——入學資格は新制高校二年又は舊高等女學校卒とした時、假免許狀はどうなるか。

上野事務官——新制高校二年では問題になると思う。

倉橋(東京女高師)——狹義の専門科目の欄のあいて居るのはどういふ意味か、教職科目だけでよいのか。

上野事務官——そうである。

鈴木(香川)——保育所保母との關係如何。

上野事務官——一年では兩方には通用しない。

鈴木(香川)——私の方は一年のコースは作らないし、縣も二年でなくてはいけないというが、現狀は一年でないも無理である。一年で保育所保母と幼稚園教員の兩方の資格が出るとうい。

上野事務官——文部省と厚生省が妥協出來ず、厚生省ではあちらの指定する様な教科をとれば免許狀も出すと言つてゐる。

(上野事務官退席)

次に、附屬幼稚園から附屬小學校への進學のし方につき、今回の文部省の通牒について、いろ／＼と報告論議され、一旦休憩、晝食を共にした(フレイベル館接待) 晝食後、再會。

幼稚園教員養成のために

小川(奈良女高師)——上野事務官の話では教員養成のこと

は、小中學校が目鼻がついてからの様であるが、學藝大學の方で保育に關する講座を置かねば進まない。大阪で既に考えられてゐるというが、この問題を話しあい、決議出來たら師範學校長宛て希望を述べたら如何。

阿部(大阪第一師範)——學校でも話し合ひではとりあげられだが、あまりあてが無く今はたちぎえの形だ。保育界の空氣は官、公、私とも幼稚園教員を實際的に教育してほしがつて居る。第一に學藝大學で出來たら他の學校にも出來、次第に幼稚園教員の資格が與えられるのではないか。保育界から熱心具申して居る。學校での話では幼児の方面を專攻する選擇を持つグループを作る様にしたらという話をすゝめ、又募集人員の關係から實際には少々は默認してこの様な人をおいてもいゝだろうと言つてゐる。しかし、はつきりした指令が無く、幼稚園主事の考えが全國的にはつきりして居ないから、心配して居る。その養成のカリキュラムをすゝめ、具體的實施方法を考えほほしい。そうしたら他の公私立の養成所でも手がつけられるのではないだろうか。

江尻(愛知)——名古屋でも幼稚園關係者が集まり大阪の話をして、何とかしてつくつてほしいと言つて居るが、學校として具體的案はまだ何も無い。

小川(奈良女高師)——之は大都會から着手せねばならぬと思ふ。

江尻(愛知)——講座を減らされる恐れさある現在、なお保育に關する特別の講座をおくのは難しくないかと思ふ。上野

事務官の話をして何とかならないだろうか。

池田(廣島)——特に設けなくても小學校のもので行くのではなにか。

江尻(愛知)——扱いだけですめばよいが。

宮内(千葉)——特に講座を設けても専攻する人は無いと思ふ。小學校の方でも應募は三分の一である。幼稚園教員には教育委員会の方で一年の案をたて師範女子部に委託すればよい。

野口(岩手)——公立の幼稚園が多ければ、應募はあると思ふ。それが少いので希望が出ないのだから。

宮内(千葉)——公立幼稚園が次々閉鎖されるので教員養成から熱をあげようとして居るのだ。

小川(奈良女高師)——三重では市の小學校に全部幼稚園を附設するというが教員はどうするか。

鈴木(三重)——それについてはあまり資料を持つて居ないし計畫もない。四五日前、縣下の幼稚園代表が來ての話であるが、幼稚園教員のしつかりした養成機關を作つてほしい。假に師範の卒業生に幼稚園教員の資格を與えても、年輩の人はかりである。そして女學校卒業でオルガンが弾けるという程度で採用されて居る。幼稚園教員養成の聲は各方面から聞く。實現の可能性はなくても意志表示をし國會や一般に呼びかけなくてはならぬと思ふ。小學校教員に幼稚園教員の資格を與えただけでは根本的ではない。カリキュラムより、幼稚園教員の養成はどうするかという所まで行かねばならないと思ふ。

う。

倉橋(東京女高師)——師範が大學になり、教員を養成するのは教員の質をあげるが簡單につくる便法がなくなる。三重のお話は實際に則していると思ふ。しかも教員を養成するより他に幼稚園の質をあげる事は出来ない。文部省にもその事は話しているが學藝大學や教育學部で幼稚園教員志願者を特に募る事は難しい。その上小學校の様に必要人員の豫定もないからよく困難ではないかというので、小學校の先生の爲の門の中に幼稚園教員になれる單位を入れ、幼稚園教員の免許状のとれる方法もとれようとの話もあつた。しかし幼稚園教員募集と考えあわせると頼りない事である。しかし之も師範で幼稚園教員を養成する一つの道ではある。どれ丈が先生になるか分らないが、お膳立てだけはしておいてほしいと思ふ。もし學藝大學で幼稚園教員を募集出来れば一番好いし、せめて少くも單位が自由にとれる様にしてほしい。小學校教員も幼稚園の單位になるものを聞いておく事は必須な事と言えるから、この單位は、小學校教員養成の道としてもよい。教育委員会が師範に委託するのは非常な便法であり、教育委員会がそう思つてくれれば可能性なことであると思ふ。これも一つの道である。教員養成も教育委員会が氣を入れねばならぬ。皆さんも努力して夫々その道の方へ力を入れて下さつたら有效と思ふ。

鈴木(三重)——義務教育でないから師範の中に設けられないという譯か。

倉橋(東京女高師)——義務教育教員養成四年計畫の中では幼稚園にまで及ぶのは難しいというわけだろうか。遺憾なことである。

鈴木(三重)——義務以外の豫算は難しいと思うが、廣義に國民の教育を國家の仕事と思えば義務であるとなしとにかゝらぬと思う。義務ならざる故なら、從來女高師に保育科の置かれた譯が薄弱である。幼稚園は國家的教育的に大きな意義を持つのであるから將來は廣い立場から、レベル向上の爲に盡力すべきではないか。學藝大學の中に教員養成を入れるなら、幼稚園教員も入れられねばならぬと思う。

倉橋(東京女高師)——只今の様な正論を強く出して頂く事は嬉しい。四年計畫の中で云々というのは形式のことで本質論からは然るべきである。

小川(奈良女高師)——東京と奈良の女高師の保育科は兩方共豫算を持たなかつたが、廣い意味で國家がして居たわけである。今年東京では止められたが、奈良は師範のある以上する。生徒の應募は少いが需要は大きい、明年學藝大學に保育修のコースをつくる事を建議したが反響は無い。阪元課長は校長の一存にあると言われた。

阿部(大阪)——校長は文部省の態度がこうだからと言う。もし幼稚園教員を含む事を表明したら、應募する人はあると思う。厚生省の保姆學院に行つても幼稚園の先生になれないのをいぶかつている人もあり、又その爲應募する人も減つてゐる。

魚住(京都)——京都市の方も關西保育會と關係もあり、養成の話も常に出る。私がこの會に来る事を保育會の人が知つて教員養成のコースを全國の方に話してすゝめて来るように特に依頼された。たゞ應募の少い事が懸念される。それには從來幼稚園に奉職する人の地位、待遇の悪かつた事も原因して居ないだろうか。京都では、同歴なら小學校教員と同じ所まで引上げた。又今まで園長は兼任であつたが今度は専任にするようはこんで居る。待遇等次第に向上すれば應募者も増すであろう。又幼稚園の入園希望者が、二三倍にふえて來たので、市でも獨立設備を考えている。この様になれば奉職する氣持も多くなると思う。養成は早く考えられねばならない。

山下(香川)——現實に奉職して居る人から考えねばならないと思う。一年程度で假免許狀でももらえる事をねらわねばならぬ。そこで縣の學務課に申し出たが經費なく、厚生省兒童科の社會事業團體に話して、廿二年度は六千圓の豫算を得て、奈良を參考として發足した。しかし二年でないで免許狀が出せなくなつた。これでは希望者が少くなるからと願ひ出たが許されず、廿三年度は遂にしなかつた。

小川(奈良女高師)——厚生省では二年としまつた。しかし大都會でなくては出来ないと思う。他は檢定試験とならう。幼稚園教員養成は何とかしてジュニア的に、大都市からでも始め、講座又は單位を置いてほしいと、會の建議として文部省、校長に出したいと思うが如何、(養成)

(阪元課長出席)

阪元課長を中心として

阪元課長——幼稚園教員養成は、免許状をとりやすくする爲、又それ／＼の大學におきやすいために、單位をへらす方針でしている。單位は、幼稚園、小、中、高等學校皆同じ言葉で呼ぶ。小學校の爲のカリキュラムの單位が五とするとそれをそのまま幼稚園に使える様にした。教育心理にしても幼稚園から高校まで共通のものにしたい。或程度選擇して幼児の爲一講座設けたいと思うがそこまで行かなくともよい。小學校と幼稚園は一つで行きたい。

倉橋(東京女高師)——小學校のカリキュラムの中に幼稚園のものが當然にあるのか、幼稚園の人はそれを選択するのではないのか。

阪元課長——特に選擇するのでなく自然にあるのである。

倉橋(東京女高師)——それは小學校の爲にも誠にいい。教育實習だけはそうは行かぬ。

阪元課長——しかし單位数は少い。兩方共とるには九單位いるかどうかまだはつきりして居ない。

多數——兩方共通になるといい。

江尻(愛知)——女子師範には保育實習があり、それで幼稚園教員の資格があつた。しかも實際には男子と時間は變らず幼稚園、小學校の兩方兼ね得たと思う。

阪元課長——幼稚園教員募集という様に表立てる事は、學藝大學が義務學校の教員養成をする以上むづかしくないか。

江尻(愛知)——何か表さぬと小學校のつもりの人のみ入る様になると思う。

阪元課長——幼稚園教員のコースのある事を書いておけばそれを目的に入る人はあると思う。

池田(廣島)——給費はどうなるか。

阪元課長——今度入る者は一部は育英資金がもらえる。しかし小學校教員故出せるので、はじめから幼稚園では出せない。免許状は、小學校、幼稚園を一つにする事に歸着する。

倉橋(東京女高師)——幼稚園教員になるのには、小學校教員のものもしなくてはならぬと言つてもいいと思う。

阿部(大阪)——一學期小學校の方をし、二學期から幼稚園へ轉じても學校側がよしとすればよい。

阪元課長——學職の義務年限はせい／＼一年で、結局、任免権者との自由契約となる。市で幼稚園へやつてくれれば問題は無い。委託の事は地方の問題である。

倉橋(東京女高師)——委託された時は、師範ではどうするか。別科に別に人数を入れるのか。

阪元課長——實際的にはよいが、本科の人と一緒に扱う事は出来ない。

倉橋(東京女高師)——教育委員會はどう委託し、學校はどう受取るか。

宮内(千葉)——千葉では師範の先生を講師にたのみ、建物も使つてしていた。

倉橋(東京女高師)——今年こゝで保育科をやめた理由の一

つは、この大學が學藝大學でなく、教員養成大學でない爲である。そこで別科を作つたが本年の豫算には組んで貰えなかつた。幼稚園教員養成の必要は認めても教員養成を目的とせぬ學校だからというのである。そこで是非學藝大學でやつて貰わなくてはならぬ。

江尻(愛知)——アメリカではどうなつてゐるか。

阪元課長——免状は幼稚園、小學校別のも一積もある。

江尻(愛知)——設立はティーチャー・スカラー・デの中か。

阪元課長——そうだ。

倉橋(東京女高師)——幼稚園が盛か否かにあわせて、いろ

くしかも氣樂にやつてゐる。我が國でもいろくの形で出来る道を開いておきたい。

阪元課長——O・I・Eのヤイディーさんの話では、アメリカでは幼稚園、小學校の免状は性格が大變違い、兩方を持つてゐるのは若い人ばかりである。そのために幼稚園と小學校との連絡も難しいそうだ。

野口(岩手)——幼稚園が學校教育法で認められたのだから何とかならぬものか。

小川(奈良女高師)——私の方でも委員會に陳情して、全小學校に幼稚園を附設し、専任園長をおく様願つたが、三月からとり上げられそうである。

池田(廣島)——福山市では小學校には皆附設され、その上二部保育を行つて居るので全市幼兒の九五%が幼稚園に入つて居る。

波根(富山)——現在幼稚園で助手を二三年務めて居る人があるが、教員に昇格する事は出来ないか。

阪元課長——今までと同じような昇格の道をとりたい。大學の夏季講座等で單位を取ればよい。

波根(富山)——その事が法律的に決らないので現實には困る。

魚住(京都)——我々もはつきりするのを待つてゐる。

阪元課長——これは免許規則が出れば一切解決される。我々としても今まで奉職した方に無駄をさせぬ様になつてはならぬと思つて居る。

波根(富山)——教育委員會の指導者が幼稚園から手をひいてしまひ、事實兒童課が活躍して居る。そして幼稚園が看板を保育所に改めて、どんどん減つて行くので、一般も幼稚園教員養成の必要性を認めなくなつて來てゐる。幼稚園、保育所は常に二元的で仕事の圓滑を缺き、困る。

鈴木(三重)——大學の中に養成機關を設ける意志はないのか。

阪元課長——本省には無い。學校と地方の自主的出方によるのである。

鈴木(三重)——大學の中に幼稚園教員の養成機關をつくるや否やは學校側の出方一つか。

阪元課長——地方の實情によつて行かねばならない。

魚住(京都)——豫算の通らないのは變に思うが。

阪元課長——經濟九原則から見れば仕方がない。但し師範

の學生の經費を大學の學生の經費に切りかえるのは出來て居ると思ふ。

魚住(京都)——國家が教育を重要視しながら、義務以外のものを輕んずるのは不合理だ。

阪元課長——同感である。一般に義務教育は重要なものというよりも、國家が經費を出すものと、そつちから考えられて居る。と同時に社會政策的に考えれば、生活に關しては豫算もどん／＼出されるべきで、従つて保育所が榮えるのも當然と思ふ。

倉橋(東京女高師)——保育所の名で開かれて居る所よりも幼稚園は學校教育法に従つて、正しく教育的にちやんとして居なくてはならぬ。社會でどう利用するかという事もあるが、此の正しい教育性が重要な點であると思ふ。社會の理解はとにかくとして、幼稚園は、ちやんと教育機關の本質を具えなくてはならない。

阪元課長——農村等で必要なら二枚看板もよい。しかし保育所の補助を受けるのは要保護家庭であり月謝の相違となる小川(奈良女高師)——私立幼稚園で立ち行かぬ爲二枚看板にした所もある。

阪元課長——子供の爲ならそれもよいと思ふ。そして全國幼児の八〇%位就學したら、すべて幼稚園に切りかえたらよい。

鈴木(香川)——幼稚園と保育所が對立して居るのが支障となつて困る。

小川(奈良女高師)——前におはかりした建議を文に作つておこうか。
(一同賛成。まともは世話人に任せる)

幼稚園主事を専任に

小川(奈良女高師)——次の問題に移らう。地方の幼稚園の發展の爲附屬幼稚園に専任の主事を置いた方がよいと思ふか
森(若手)——私は兼任して居るが、經驗から、兼任でない方がよいと思ふ。人的活用にも獨自の活動の爲にも専任がよいが、今は父兄關係や校舎の事等で一緒にさせられて居る。
小川(奈良女高師)——大阪の阿部氏は一つ棟にありながら専任でして居られる。

鈴木(三重)——専任の方がよいと思ふ。

小川(奈良女高師)——専任の方が發展の爲によい。

山下(鹿兒島)——中、小學校は兼任の方が連絡がとれてよいと思ふか。

阪元課長——その意味で兼任もよい。中、小學校よりも寧ろ小學校幼稚園の方が兼任の効果はあると思ふ。

森(若手)——兼任でも幼稚園に仕事を委せられる様な保母があればよい。

魚住(京都)——原則的に専任もよいが、兼任にもいゝものがあると思ふ。幼稚園教員は小學校教員より下の様な觀念があるので、それを無くすために、私の方では、屢々幼稚園と小學校の人事の交流を行つて居るがその爲には兼任はよい。

續けて受持をする事も出来る。男からも幼稚園へ行きたい希望が出て居る。

小川(奈良女高師)——少くも幼稚園がもつと發達するまでは専任がよい。

多數——この事は決議とはしない方がよからう。

魚住(京都)——現在の附屬中學校なら小學校と一緒にの方がよい様な氣もする。教科的色彩が異なる程度である。

齋藤(新潟)——精神一貫の爲一人の主事もよいが、各々にそれに代れる人がなくてはならない。

魚住(京都)——幼稚園の組織より先生の人數の多い所はその位あるだらうか。

齋藤(新潟)——二人多し。

小川(奈良女高師)二人、Q.T.A.の方で援助している。

阿部(大阪)——幼稚園の爲府下へ出ねばならぬ専もあり、又教育的議論の上にも専任がよい。

小川(奈良女高師)——この中で専任の方は何人あるか、(舉手八人)

森(若手)——幼稚園、小、中學校の間はスムーズに行つてゐるが、幼稚園は専任でないといふ。

波根(富山)——主事連絡會議を月一回位して居る。

宮内(千葉)——幼稚園側から考えると専任がよいのだ。

林(群馬)——保姆の立場から言つて、主事が、小、中學校の方に忙しうと困る。専任の方がよい。

江尻(愛知)——専任でないといふ外部に對して煩さい事が多い

山下(鹿児島)——私は、幼稚園、小學校、男女中學校を兼任して居るが、専任にする事を最も要望する。しかし現實には次第にその傾向に持つて行くようにしたい。

全國保育連合會

日本保育學會のこと

倉橋(東京女高師)——この機會に全國保育連合會と日本保育學會についで申上げたい。全國保育連合會は一昨年東京で發足し、昨年奈良で役員もきまり、形が整つた。幼稚園、保育所共、全國的團體の無い事が長い間問題となつて居たが、遂にその要望を集めて出來たのである。師範附屬幼稚園は縣の指導の任を持つのであるから、是非連合會の方へも御懇力願いたい。日本保育學會は所謂學會である。他の學問に學會があるのに、保育學には無いのは遺憾である。昨年第一回を開き有益であつた。本年は五月に東京に開く豫定だ。御研究の數々を是非御發表を願います。又會員もすゝめて頂きたい。

(印刷物配付)

小川(奈良女高師)——今年七月廿七日より卅日までの全國保育連合會の計畫について御話願いたい。

波根(富山)——奈良の大會で次の開催地は北陸と決り、相談の結果、新潟で催す事となつた。會場は新潟大學と師範附屬で日程は左の通である。

七月廿七日 準備會理事會(九地區常任理事と中央事務局

の人が集る)

同 廿八日 總會、大會、部會

同 廿九日 部會、研究發表會(北陸地區四縣より一名ずつ發表、指導者(團長)四名講習兼發表)

同 卅日 總會、講演會(倉橋氏、ポッツ博士)

卅日午後より希望者の第一班は佐渡島見學(二泊三日)
第二班は良寛遺跡遊覽(一泊二日)

問題はつきないが、四時に到つて一應會を閉ぢ、後も、種々敷談して散會した。なお、附屬幼稚園主事會を時々開催のことに話合ひの出來たのも此集りの收かくであつた。

散會後、倉橋、小川、中川三氏によつて、幼稚園教員養成についての建議書を作製した。

○ 建議書

昭和二十四年二月二十六日東京で開催された全國師範學校附屬幼稚園主事協議會において幼稚園教員養成の急務に關し熱心に協議の結果左記事項につき當局の御配慮を願いたいという強い要望が全員一致で議決せられました。この段建議いたします。

昭和二十四年三月七日

全國師範學校附屬幼稚園主事會

文部省學校教育局長日高第四郎殿

記

國立大學の學藝學部又は教育學部に幼稚園教員となるための講座又は單位科目をおくこと。

理由

幼稚園が學校教育法のうちにおかれ、その振興が種々の點で進められている中にも、幼稚園教員の養成が根本の急務であることはいうまでもありません。當局におかれても既に適切な方途を講せられつゝあることを信じておりますが、國立大學にそのための講座が設けられることは、幼稚園教育の向上のために極めて必要であります。又豫て全國の幼稚園關係者の切望しているところでもあります。地方によつて幼稚園普及の實情に差もあり、又大學によつて講座の設置が急に實現され難い場合にも幼稚園教員となるために必要な單位科目は必ずおかれたいのであります。(玖村師範教育課長へも同文)

なお、此の建議書は、三月七日、協議會出席者名簿と共に、日高學校教育局長と、玖村師範教育課長とに提出された。

(この筆記は當日の協議のすべてを盡していません。また各發言につきいても要領を記したに止まります。一切の文責の記者にあることを明記して、出席各位の御諒恕を乞ひます。——編集者)